



## 第4回教育課程企画特別部会

# 渋谷区教育委員会からの事例発表

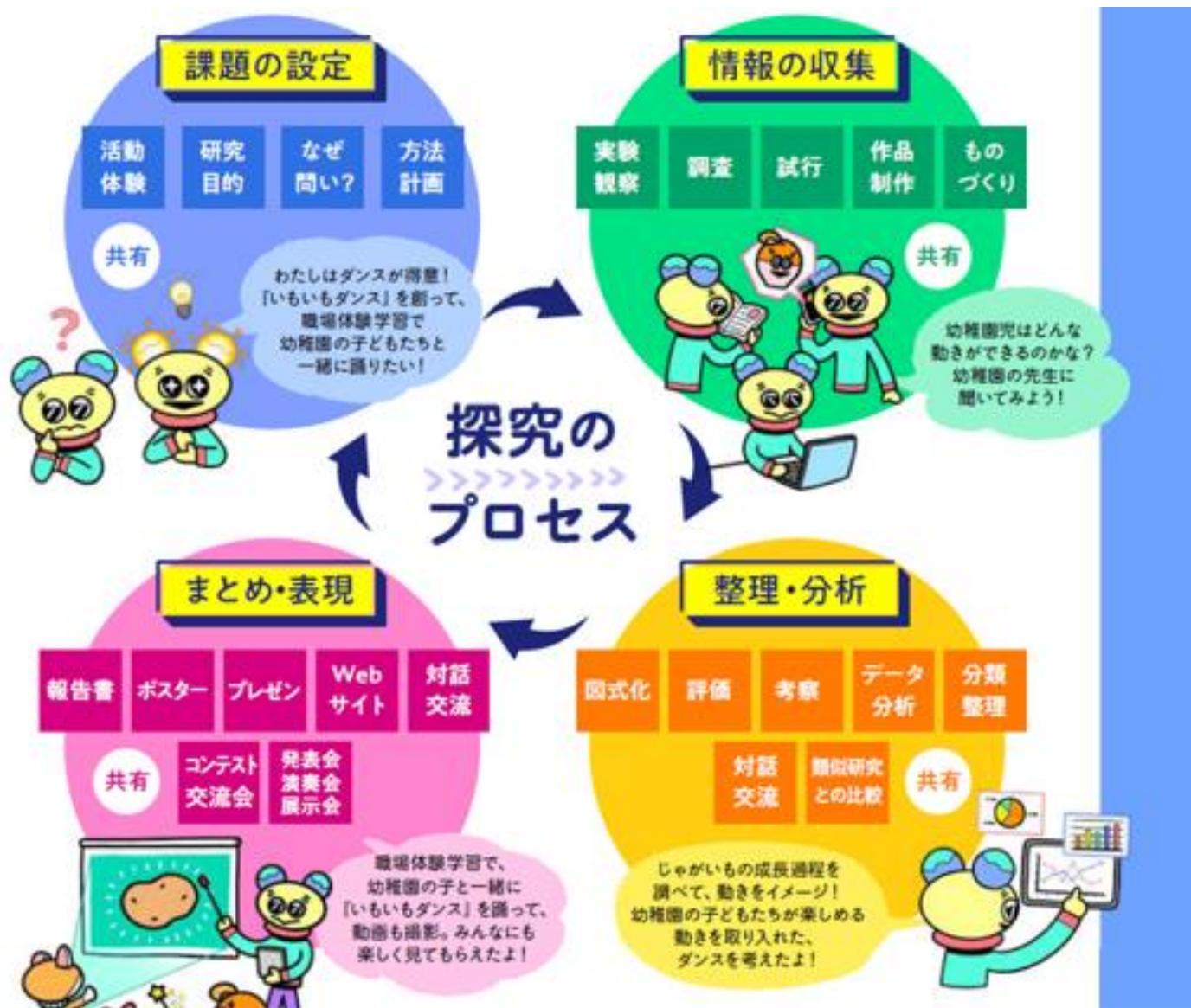
# 発表の内容

- 1 探究「シブヤ未来科」について
  - (1) 探究のプロセスと探究「シブヤ未来科」の目標
  - (2) 授業時数特例校制度の活用
  - (3) 探究「シブヤ未来科」のプログラム
  - (4) 教育委員会の役割
- 2 教員の研鑽機会の確保
  - (1) TLD（ティーチャーズ・ラーニング・デイ）の設定
  - (2) 授業週数の考え方
- 3 事例紹介 – 渋谷区立千駄谷小学校 –
- 4 次期学習指導要領に期待すること

# 1 探究「シブヤ未来科」について

# 1 探究「シブヤ未来科」について

## (1) 探究のプロセスと探究「シブヤ未来科」の目標



### 自己調整力

自ら考え判断して学び続ける

### 創造力

多様な仲間と協働して新たな価値を  
生み出す

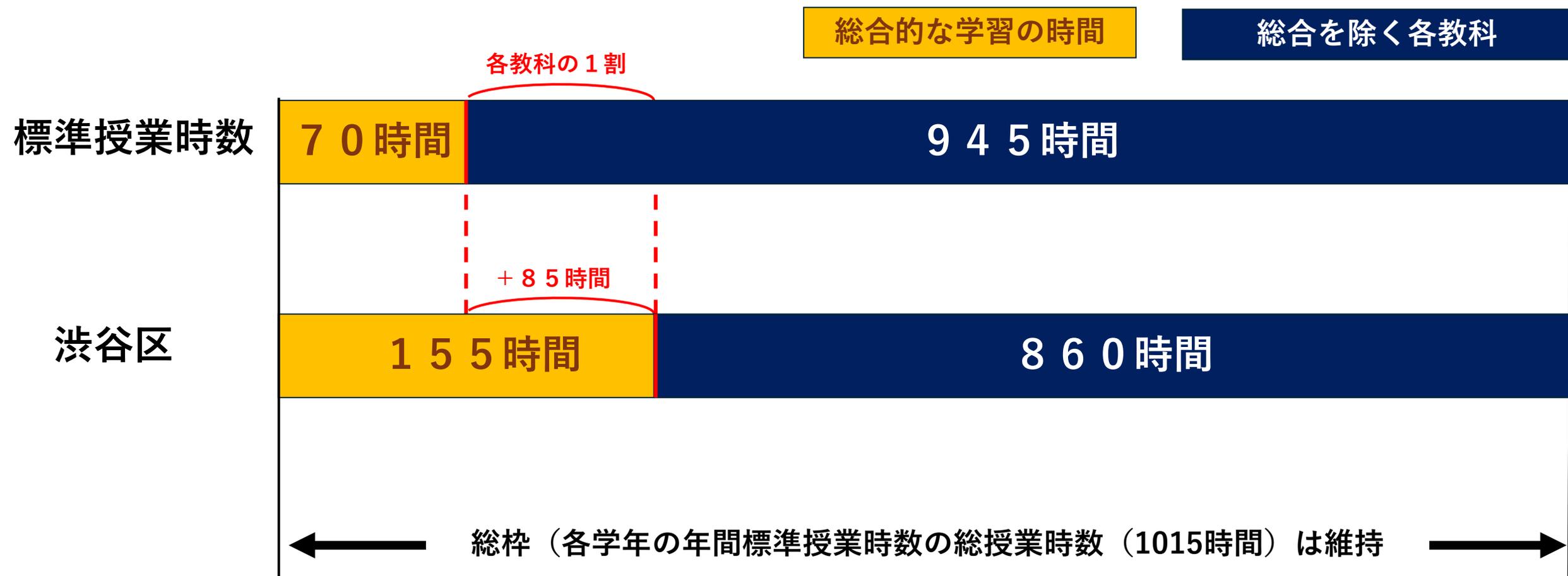
### 挑戦力

自分が思い描く未来を実現しようとする

# 1 探究「シブヤ未来科」について

## (2) 授業時数特例校制度の活用

制度の上限である各教科の1割を活用（小学校6年生の例）



# 1 探究「シブヤ未来科」について

## (3) 探究「シブヤ未来科」のプログラム

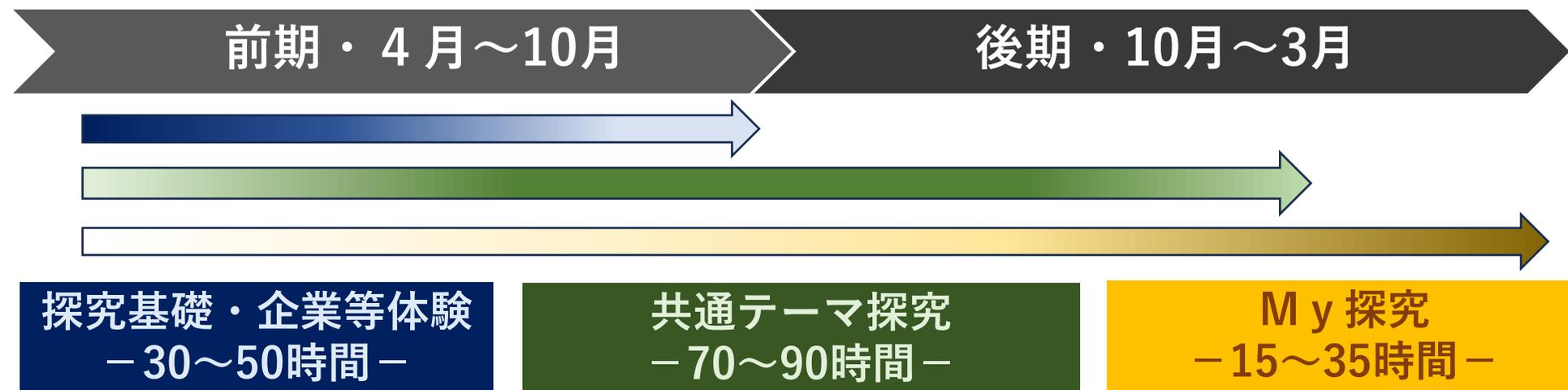
### 学校の1日

	月～金
午前 1～4校時	教科を中心とした授業 国語、社会、算数・数学、理科など
午後 5～6校時	探究「シブヤ未来科」の時間 総合的な学習の時間、各教科の一部等（探究的な学びを取り入れた教科単元）

### 探究の1年

(総合的な学習の時間)

※学校や地域の特長、  
状況に応じ、各学校が  
年間指導計画を作成



探究基礎・企業等体験  
－30～50時間－

共通テーマ探究  
－70～90時間－

My 探究  
－15～35時間－

○基礎的な探究基礎スキルの習得  
○地域人材、企業等によるプログラム体験

○子ども一人ひとりが興味・関心に応じて  
課題を設定し、探究学習をすすめる 5

## (4) 教育委員会の役割

### ≪ 課題 ≫

- 授業時数特例校制度を活用するに当たっての学校の懸念・不安
  - ・ 標準授業時数の9割で、10割の内容を指導する 各教科の年間指導計画の作成
  - ・ 増大した総合的な学習の時間の年間指導計画の作成
  - ・ **企業等体験** → 連携先企業のを開拓、授業に向けた企業との打合せ
  - ・ **My 探究** → 探究課題が子ども一人ひとり異なるMy 探究の指導・支援
  - ・ 保護者の理解、協力を得られるか



授業時数特例校制度を活用した、探究「シブヤ未来科」推進のためには、  
立ち上げ初期に教育委員会が果たす役割が大きい

## (4) 教育委員会の役割

### ◀ 教育委員会による学校支援 ▶

#### ○EdTechコンテンツ（AI型教材等）の導入

- ・教委事務局、教員、事業者による活用促進のプロジェクトチームを結成し、効果的活用を普及

#### ○指導課訪問の全校実施

- ・探究「シブヤ未来科」や各教科の授業を視察、視察後の教員と指導主事による対話・意見交換

#### ○職層に応じた研修の充実

- ・例：各学校教員1名を「探究コーディネーター」に指名。当該教員に年間8回程度の研修

#### ○学校、教員が必要な研修を設定できる研修日ティーチャーズラーニングデイ（TL D）の設定

#### ○教員向け「探究ハンドブック」の作成、探究「シブヤ未来科」学習評価基準の明示

#### ○PTAとの意見交換会・QAの作成

- 授業時数特例校制度の活用への理解、学校への協力を依頼

#### ○外部連携の橋渡し（企業・団体との連携、大学院生・大学生によるMy探究伴走支援など）

#### ○探究ポータルサイトの構築

- ・学校と企業のマッチング・打合せのサポート、授業例・ワークシート等教材の紹介

## 2 教員の研鑽機会の確保

### (1) TLD（ティーチャーズ・ラーニング・デイ）の設定

#### ① 設定の背景

- 教員の多忙化により、日々の教材研究を十分に行えない。授業の質の低下の懸念
- ICT活用や探究に必要な指導力の向上等、新たに求められる資質・能力、技能を向上させる必要があるものの、研修を設定する時間が取れない

→ 令和5年度から**毎週水曜（中学校では今年度は月1回）**をTLDとして午後は授業を実施せず

#### ② 学校の実情に応じた研修の設定

- 教員が学びたい内容を出し合い、年間研修計画を作成
  - ・ 校内全教員の参加による研修
  - ・ 学年や職層ごとによる研修
  - ・ 他校と合同で研修を実施
  - ・ 教員一人ひとりが自身の課題や興味・関心に応じて参加する研修
  - ・ 学校として研修を設定せず、個々人の教材研究等に充てることも可能

### (2) 授業週数の考え方

#### 《これまでの考え方》

○令和3年度から、年間総授業時数＝標準授業時数として提出するよう各学校に指示

○年間週数 35週以上

○週当たり授業時数 29時間 月・火・木・金：6時間、水：5時間

○年間授業時数 1015時間 29時間／週×35週／年

- 💡・1015時間の標準授業時数は、週28時間でも約37週（185日）以上あれば確保できる
- ・小学校の行事時数は、〔R7予定 最低：約29時間（約6日） 最高：約70時間（約13日）〕  
→37週に、3週（15日）程度を加算した**40週（200日）程度**あれば年間の授業実施が可能

#### 《現在の考え方》

○年間週数の考え方 (35週→) **40週** (200日程度)

○週当たり授業時数 **28時間** 月・火・木・金：6時間、**水：4時間**

○年間授業時数 1015時間 28時間／週×40週／年

これまでは・・・

授業時数を多めに積んでおき、授業時数をカットしながら調整

→ カットによって時間は生み出されても、あまり有効に活用されなかった

現在は・・・

標準授業時数で計画しておき、不足しそうな場合は、授業時数を追加して調整

→ 創出した1コマ分を含め、年度当初から必要な研修の年間計画を作成できる

### 3 事例紹介【渋谷区立千駄谷小学校】

# 本校の取り組みについて



2025年3月28日

渋谷区立千駄谷小学校

校長 中野 有一郎

# 説明の内容

1 本校のシブヤ未来科について

2 教科の時間1割減での工夫について

～時数特例制度の活用～

3 TLDの活用について

～教員の余白の時間の確保について～

# 1 本校のシブヤ未来科について

時数特例制度を活用して

→ アウトプットの時間の充実

アウトプットとは 発表・プレゼンのほか

地域への啓発・イベント企画・運営

# 1 シブヤ未来科 事例紹介

5年生 フードロスを考えよう！

連携企業等

明星食品・高島屋・ローソン

JB 's BURGER・服部栄養専門学校

渋谷区役所 清掃リサイクル課

社会福祉協議会 他

# 令和6年度 本校の連携法人等 (約80法人)

1	学年	企業名	カテゴリー	連携時期 (予定時期)
2	34 小4	渋谷区役所環境政策課	テーマ探究	令和6年10月～11月
3	35 小4	日本舞踊藤間流師範藤間豊彦先生	テーマ探究	令和6年10月～令和7年3月
4	36 小4	Nikon	テーマ探究	令和6年10月～令和7年3月
5	37 小4	東京海上日動火災保険株式会社	テーマ探究	令和6年9月
6	38 小5	森永製菓株式会社	その他	令和6年10月～11月
7	39 小5	渋谷区役所 清掃リサイクル課	テーマ探究	令和6年10月～令和7年2月
8	40 小5	明星食品株式会社	テーマ探究	令和6年7月～12月
9	41 小5	高島屋	テーマ探究	令和6年10月～令和7年2月
10	42 小5	社会福祉協議会	テーマ探究	令和6年10月～令和7年2月
11	43 小5	ローソン千駄ヶ谷一丁目店	テーマ探究	令和6年10月～令和7年2月
12	44 小5	Hostaria Casa Bella	テーマ探究	令和6年10月～令和7年2月
13	45 小5	鉄板焼きステーキ あずま	テーマ探究	令和6年10月～令和7年2月
14	46 小5	JB's BURGER	テーマ探究	令和6年10月～令和7年2月
15	47 小5	九段富士見法律事務所堀切忠和先生	テーマ探究	令和6年11月
16	48 小5	フォトスタジオCONIFER	テーマ探究	令和6年11月
17	49 小6	渋谷区役所 きれいな町づくり科	テーマ探究	令和6年10月～11月
18	50 小6	東京デザイン専門学校	テーマ探究	令和6年10月～11月
19	51 小6	建設局 第二建設事務所 目黒工区	テーマ探究	令和6年10月～11月
20	52 小6	原宿警察署	テーマ探究	令和6年10月～11月
21	53 小6	エコロパーク	テーマ探究	令和6年10月～11月
22	54 小6	Times	テーマ探究	令和6年10月～11月
23	55 小6	(株)スマイルズ&(株)ロッセ	テーマ探究	令和6年10月～11月

# 5年生 フードロスを考えよう！

## 学習の流れ

① フードロスについて知る(明星食品)

※②③からグループ別活動

② 実態把握 (企業・商店・学校・家庭)

③ 解決活動 (フードドライブ レシピ講習  
会 飲食店と一緒に)



渋谷区では、食品ロスの削減、地域環境の美化、ごみの削減に取り組む飲食店を「シブラン三ツ星レストラン」として認証します。  
 PRしていきます。

渋谷区  
食品ロス削減等推進店舗

渋谷区は環境に配慮する  
飲食店を応援します。

**SHIBURAN**  
 渋谷区  
Shibuya City



# 1 シブヤ未来科 課題

## 1 教育課程上の課題(休日開催)

## 2 人材(引率等)確保

## 2 時数特例制度の活用について

キーワード **Connect & Combine**

社会科の学習内容に沿った総合のテーマ設定

全教職員による カリマネ PDCAサイクル

4月 年間指導計画の確認



夏休み 中間評価 & 微修正



年度末 次年度に向けての見直し

# 3 教員の余白の時間の確保について

## (1) TLD(Teachers Learning Day)の活用

毎週 水曜日 3時間30分(休憩時間45分 含)

### TLDの内訳

- ① 渋教研 (区の教科別研究会) (余 90分)
- ② 校務分掌等の会議 (余 120分)
- ③ 校内研究 (余 120分)
- ④ 集合研修 (余 135分)

# 3 教員の余白の時間の確保について

## (1) TLD活用

### ④ 集合研修 (45分)

	月	日	内容	場所	担当
1	4	10	食物アレルギー対応	図書室	藤谷
2	5	8	My探究キックオフ研修↓ STEAM教育(学芸大学 金子嘉宏先生)	図書室	高木
3	6	7	15:10～ プール機械操作研修	プール	坂本
4	9	11	My探究ガイダンス研修	図書室	高木
5	10	30	CANVAの活用研修	1年2組	森下
6	12	18	海外派遣研修報告 Micro teach	1年2組	西尾
7	1	8	カリキュラムマネジメント研修	図書室	高木
8	2	12	次年度の研究に向け (My探究の研究内容)	図書室	岡田

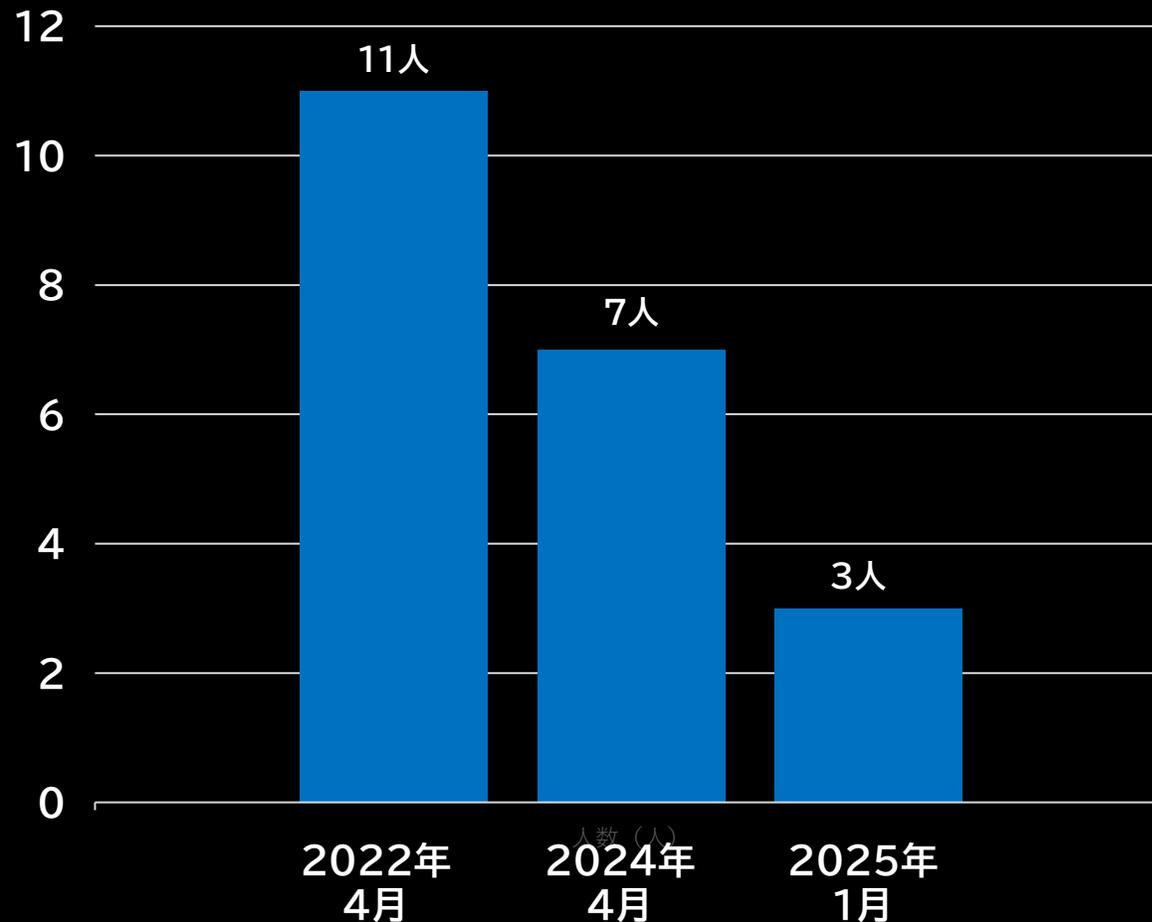
# 3 教員の余白の時間の確保について

## (2) 生活時程の見直し **15時までに完全下校**

	A時程		B時程	
登校	8 : 05	~ 8 : 15	8 : 05	~ 8 : 15
出欠確認・健康観察	8 : 20	~ 8 : 25	8 : 20	~ 8 : 25
朝会・集会・英語・読書等	8 : 25	~ 8 : 40	なし	
1校時	8 : 40	~ 9 : 25	8 : 25	~ 9 : 10
2校時	9 : 30	~ 10 : 15	9 : 15	~ 10 : 00
中休み	10 : 15	~ 10 : 35	10 : 00	~ 10 : 20
3校時	10 : 35	~ 11 : 20	10 : 20	~ 11 : 05
4校時	11 : 25	~ 12 : 10	11 : 10	~ 11 : 55
給食	12 : 10	~ 12 : 55	11 : 55	~ 12 : 35
清掃	12 : 50	~ 12 : 55	12 : 35	~ 12 : 45
昼休み	12 : 55	~ 13 : 10	12 : 45	~ 13 : 00
5校時	13 : 10	~ 13 : 55	13 : 00	~ 13 : 45
6校時	14 : 00	~ 14 : 45	13 : 50	~ <b>14 : 35</b>
6校時 (クラブ・委員会)	14 : 05	~ <b>14 : 50</b>		

# 3 教員の余白の時間の確保について

本校の 時間外勤務時間 45時間以上の人数推移



# 4 次期学習指導要領に期待すること

## 4 次期学習指導要領に期待すること

### 《基本的な考え方》

- 重要なのは、各教科等の見方・考え方を働かせて資質・能力を育成し、**各教科等の目標を達成すること**
- 約1年間の授業時数特例制度の活用を通じ、**現場の創意工夫により目標の達成に必要な学びを確保しつつ授業時数を柔軟化することが可能**であることがわかってきた
- そもそも、学校教育法施行規則第51条では別表第一に定められた授業時数は「標準とする」と規定されている
- 標準授業時数は、現場でのカリキュラム作成や教科書等の教材作成の上で重要な情報となるが、その厳密な確保を求めるのではなく、一定の範囲で学校・教育委員会の判断による柔軟な運用を認めてはどうか**

### 《提案》

- 上記の考え方を踏まえ、授業時数特例の要件について、**①国による審査を無くして教育委員会や学校の設置者に委ねる、②移行できる時数の上限を引き上げる**ことも考えられるのではないか
- ただし、**各教科等の目標達成に向けた学びが確保されることが大前提**